

感情は人間を特徴づける重要な側面であり、心理学にとどまらず様々な学問分野で取り上げられる重要な研究テーマである。これらの研究は、対象である感情についての一定の定義・理解に基づいて行われているが、そこに多様性・曖昧さがあることは、これまでも繰り返し指摘されてきた。確かに、異なる研究方法によって、多様な「感情」の、諸側面についての理解が深まることは重要であるが、同時に、個々の研究を体系的にとらえ、全体として総合的に理解することもまた不可欠であり、学際的議論の場においても、このような総合的理解に結びつく感情概念の分析と整理が強く求められている。

このような問題意識に基づき、日本感情心理学会 2013 年度年次大会において、シンポジウム「感情概念の領域横断的検討：研究の歴史と方法の観点から」が企画され、様々な観点からの話題提供と活発な討論が行われた。この討論の中で、今後も、感情とは何かという根源的な問題を継続的に検討する必要がある、そのためにも、今回の議論を形として残すべきであるという議論があった。

この特集は、この議論をきっかけに企画されたものであり、感情研究者がその歴史の始まりから問い続けてきた、感情とはそもそも何かという古くて新しい問いかけを、「感情概念」が感情研究においてどのように取り扱われているかという観点から改めて取り上げ、「感情」研究を目標とする本学会において、継続して検討を行うための糸口を提供することを目的とする。そのため、論文一本当たりの分量を抑え、シンポジウムで論じられていないテーマを含めて、なるべく多くの観点に立つ論文を掲載することによって、読者に多様な議論を紹介し、感情概念に対する再検討を行いたいと考えている。感情概念に関する完成された論文はもとより、萌芽的、挑戦的議論も広く歓迎する。

特集責任編集者：中村真(宇都宮大学)・伊藤美加(京都光華女子大学)

1. 掲載予定巻号

22 巻 1 号 (2014 年 7 月頃発刊見込み)

2. 論文の執筆と取り扱い

論文の分量は原則的に短報と同程度(刷り上がり 6 ページ以内)とし、執筆と取り扱いは、本学会の執筆投稿規程・編集規程に準拠する。ただし、査読は特集責任編集者か、別途特集責任編集者が選定した査読者が行う。

3. 論文投稿締め切り日

2014 年 1 月末日

4. 投稿先

<http://mc.manuscriptcentral.com/jsre> (※一般の投稿論文と同様)

「著者・表題」および「原稿・要旨」のファイル冒頭に、それぞれ「感情概念について考える」と明記してください。

5. その他

本特集についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

特集責任編集者：伊藤美加(京都光華女子大学) ito-mika@mail.koka.ac.jp

以上